

1. ドミノ倒しの設計図（復習）

私たちはこれまで、数列を「隣り合う項の関係式」から考えてきた。

数列の決定条件

数列を特定するためには、以下の 2 つが必要である。

- (1) 初項 a_1 : スタート地点
- (2) 漸化式 $a_{n+1} = f(a_n)$: 次へ進むルール

これまで一つ一つ計算して確かめてきたが、今回は「式の形を見た瞬間に一般項の形を見抜く」練習をする。これができるれば、漸化式はただのパズルになる。



ルール（漸化式）の形から
数列の正体を特定せよ！

2. 知っておくべき 3 つの型

まずは基本となる 3 つのパターンを整理しよう。

漸化式の基本パターン

- Type A: 等差型（足し算）

$$\begin{aligned} a_{n+1} &= a_n + d \quad (\text{定数}) \\ &\downarrow \text{公差 } d \text{ の等差数列} \\ a_n &= a_1 + (n-1)d \end{aligned}$$

- Type B: 等比型（掛け算）

$$\begin{aligned} a_{n+1} &= r a_n \quad (\text{定数}) \\ &\downarrow \text{公比 } r \text{ の等比数列} \\ a_n &= a_1 r^{n-1} \end{aligned}$$

- Type C: 階差型（変化する足し算）

$$\begin{aligned} a_{n+1} &= a_n + f(n) \quad (n \text{ の式}) \\ &\downarrow \text{階差数列が } f(n) \quad (n \geq 2) \\ a_n &= a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} f(k) \end{aligned}$$

見極めのポイント

a_n に「何を足しているか」「何を掛けているか」に注目する。特に、足すものが「定数」か「 n の式」かで Type A と Type C が分かれる。

3. 型の判別練習

式を見て、どのパターンか瞬時に判断し、一般項を求めよう。

例題 1 (基本の診断)

次の漸化式で定義される数列の一般項を求めよ。

- (1) $a_1 = 3, \quad a_{n+1} = a_n - 2$
- (2) $a_1 = 2, \quad a_{n+1} = -3a_n$

Memo / Answer

例題 2 (階差型の診断)

次の漸化式で定義される数列の一般項を求めよ。

$$a_1 = 1, \quad a_{n+1} = a_n + 2n - 1$$

Memo / Answer

確認テスト (A: 基本)

確認テスト (B: 標準)

練習 A1 (等差・等比型)

次の数列の一般項を求めよ。

- (1) $a_1 = 5, \quad a_{n+1} = a_n + 4$
- (2) $a_1 = 3, \quad a_{n+1} = 2a_n$

Memo / Answer

練習 B1 (階差型 - 足すものが n の式)

次の数列の一般項を求めよ。

$$a_1 = 2, \quad a_{n+1} = a_n + n$$

Memo / Answer

練習 A2 (少し変形が必要な型)

次の数列の一般項を求めよ。

$$a_1 = 1, \quad a_{n+1} - a_n = -3$$

Memo / Answer

練習 B2 (階差型 - 足すものが指數の式)

次の数列の一般項を求めよ。

$$a_1 = 1, \quad a_{n+1} = a_n + 3^n$$

Memo / Answer

解答 (例題)

例題 1 解答

(1) $a_{n+1} = a_n + (-2)$ と見れば、公差 -2 の等差数列。

$$a_n = 3 + (n-1)(-2) = -2n + 5$$

(2) $a_{n+1} = (-3) \times a_n$ と見れば、公比 -3 の等比数列。

$$a_n = 2 \cdot (-3)^{n-1}$$

例題 2 解答

$a_{n+1} - a_n = 2n - 1$ より、階差数列 $b_n = 2n - 1$. $n \geq 2$ のとき

$$\begin{aligned} a_n &= 1 + \sum_{k=1}^{n-1} (2k - 1) \\ &= 1 + 2 \cdot \frac{1}{2} (n-1)n - (n-1) \\ &= 1 + n^2 - n - n + 1 \\ &= n^2 - 2n + 2 \end{aligned}$$

$n = 1$ のとき $1^2 - 2(1) + 2 = 1$ (一致). 答え: $a_n = n^2 - 2n + 2$

解答 (確認テスト)

練習 A1 解答

(1) 公差 4 の等差数列. $a_n = 5 + (n-1)4 = 4n + 1$.

(2) 公比 2 の等比数列. $a_n = 3 \cdot 2^{n-1}$.

練習 A2 解答

移項すると $a_{n+1} = a_n - 3$. これは公差 -3 の等差数列である. $a_n = 1 + (n-1)(-3) = -3n + 4$.

練習 B1 解答

$a_{n+1} - a_n = n$. 階差数列が n . $n \geq 2$ のとき

$$\begin{aligned} a_n &= 2 + \sum_{k=1}^{n-1} k = 2 + \frac{1}{2}(n-1)n \\ a_n &= \frac{4 + n^2 - n}{2} = \frac{n^2 - n + 4}{2} \\ n = 1 \text{ のとき } \frac{1-1+4}{2} &= 2 \text{ (一致). 答え: } a_n = \frac{1}{2}(n^2 - n + 4). \end{aligned}$$

練習 B2 解答

$a_{n+1} - a_n = 3^n$. 階差数列が 3^n (等比数列). $n \geq 2$ のとき

$$\begin{aligned} a_n &= 1 + \sum_{k=1}^{n-1} 3^k \\ &= 1 + \frac{3(3^{n-1} - 1)}{3 - 1} \quad (\text{初項 } 3, \text{ 公比 } 3, \text{ 項数 } n-1) \\ &= 1 + \frac{3^n - 3}{2} = \frac{2 + 3^n - 3}{2} \\ &= \frac{3^n - 1}{2} \end{aligned}$$

$n = 1$ のとき $\frac{3-1}{2} = 1$ (一致). 答え: $a_n = \frac{3^n - 1}{2}$.